

令和3年3月吉日

成瀬高等学校 第41回 卒業証書授与式報告

第41回卒業証書授与式が無事執り行われました。(卒業生276名)

式次第

開式の辞
国歌斉唱 (CD)
卒業証書授与
学校長式辞
祝電披露
送辞
答辞
閉式の辞



卒業生入場



卒業証書授与



学校長式辞



答辞



送辞



担任団挨拶



卒業生退場



教室での卒業証書授与

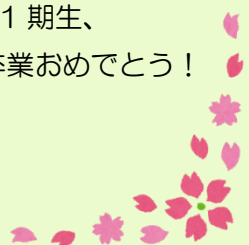


教室にて



成瀬 BB! プロジェクトバナー前で

41期生、
卒業おめでとう!



送辞（抜粋） 2年生徒会長 布施 知重

ご卒業おめでとうございます。先輩に憧れて、僕は生徒会執行部に入りました。今年度は感染症予防のため、例年通りにできないことばかりでした。その中でも先輩は生徒会の活動方法や伝え方など、自分たちで考え工夫して行っていました。臨機応変に行動する先輩は僕の目標です。本当に今までありがとうございました。

答辞（抜粋） 3年 伊勢 竜馬

本来、肌寒いはずの風が温暖化の影響で暖かい風となり、柔らかに私達を通り抜けていきます。なんだか複雑な気持ちで次の舞台へ向かおうとする私たちの高揚と、その中に潜む寂しさに似ています。この18年を振り返ってみれば、最初は母のお腹から出てくる難関。その次はその命を維持する難関。私達は実に多くの壁を乗り越えてきたといっても過言ではありません。この先何千もの難関を乗り越えなければならないのでしょうか。そんな戦いの最中でも「卒業式」というものはやってきて、何か終わりを告げられます。この卒業式の意味は何でしょう。一つは、今まで乗り越えて来た壁を振り返り、自分にしかわからない努力を自分自身に認めること。二つ目は、周りの人への感謝です。先生、親、塾講師、そして友達。この卒業式が終わるまで、私達はまだしっかりと高校生なのです。今まであったすべてに感謝して、ここ成瀬高校で出会ったものを糧にしていきましょう。そしてみんなでそれぞれの舞台へ上がっていきましょう。ここにいるすべての人にそれぞれ次の舞台があるからです。

新型コロナウイルスは、私達が予想していたこの一年間を大きく変えました。時が進むにつれ、周りの人が私達を「かわいそうな代」とあわれむようになりました。確かに行事や学校生活に様々な制約が伴いました。周りから見ると空っぽな一年間に思えたでしょう。しかし今思い返してみても、空っぽに思われた日常にも友達との笑顔や先生たちの顔が見えます。そこには今までの代と何の変わりもなく高校生活を過ごした証があるのではないのでしょうか。文化祭体育祭を行おうとする努力。クラスでみんなと喋った日々。応援団の人たちの努力。目に見えない沢山の努力が交差する日々ではなかったのでしょうか。私達はしっかりと楽しんでいました。コロナという制約の中でも、大事な温かさは冷めずに、今ここにいます。この先の私達も、どんな問題が起ころうとも、臨機応変に対処し、その都度壁を乗り越えていこうと思います。



41期生 学年団より挨拶

学年主任 青田一志

卒業生みなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。大学入試改革やコロナ禍に振り回され体育祭、文化祭などの学校行事も中止になり気の毒だと言われることが多かった学年ですが、答辞の「日常の中に楽しみを見つけていた」という言葉に生徒たちのたくましさを感じました。生徒たちと勉強・部活動・行事・他愛もない会話をしたこの3年間はとても充実した時間でした。こんなにも素晴らしい時間を一緒に過ごした卒業生みなさんと保護者の皆様に、あらためて感謝と敬意を表します。ありがとうございました。また会いましょう。



卒業式予行の様子



生徒表彰7名・皆勤者20名



PTAより記念品（成高パーカー）の贈呈

ありがとうございました！



有志によるスライドショー